



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

2020年3月30日

各 位

株式会社 おきぎん 経済研究所

### 「第79回おきぎん企業動向調査」 (2020年1-3月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：喜瀬

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

## 第 79 回おきぎん企業動向調査(2020 年 1-3 月期)調査結果

～県内(地域・業種別)の経営環境と業況感～

### I. 調査概要

- 本調査では各企業の業況感や経営状況項目などについて、企業経営者の主な判断(当期実績、来期見通し)を景気動向指数 DI として取りまとめる四半期調査です。

【調査時期】2020 年 2 月中旬～3 月上旬

【調査対象】県内企業 573 社回答

【調査内容】①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価⑤採算 ⑥引き合い ⑦雇用 ⑧設備・その他投資需要(第 51 回調査までの「IT 関連投資」と「その他の投資」を統合)

### —おきぎんDIとは—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、各割合を表したものです(本レポートでは「悪化・低下・減少」はマイナス表示を使用)。

雇用に関しては、「過剰・適正・不足」でお答えいただき、「不足」はマイナス表示を使用(第 74 回より)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

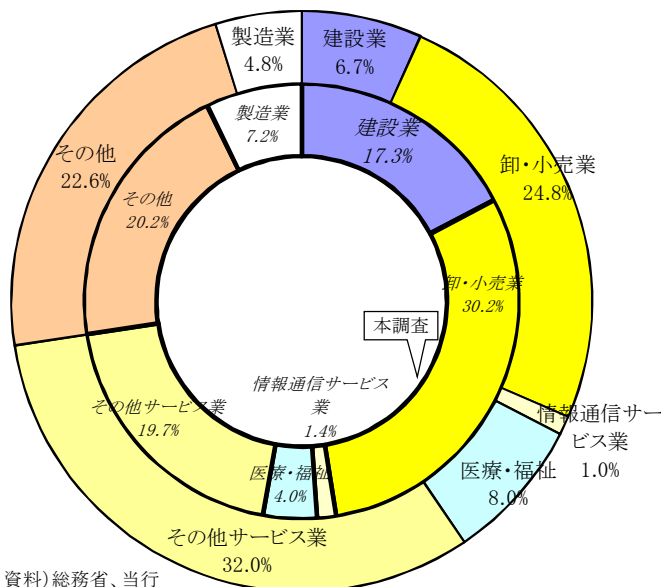
②DI(景気動向指数)＝「好転・上昇・増加」の割合(%)－「悪化・低下・減少」の割合(%)

従って、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)、と捉えます。

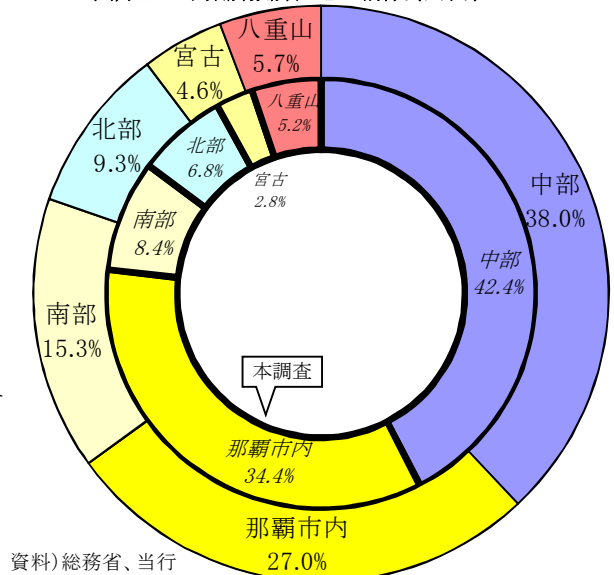
### 調査対象企業の業種・所在地構成

本調査の業種構成を県内事業所データ(2016 年経済センサス活動調査)と比べると、【建設業(本調査では土木・建築業)】、【卸・小売業】、【情報通信サービス業】、【製造業】はサンプリング数が多く、【医療・福祉】、【その他サービス業(宿泊、飲食等)】、【その他(不動産、運輸等)】はサンプリング数が少なくなっています。また、所在地構成では、中部と那覇市内の合計が全体の7割以上を占めています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、  
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



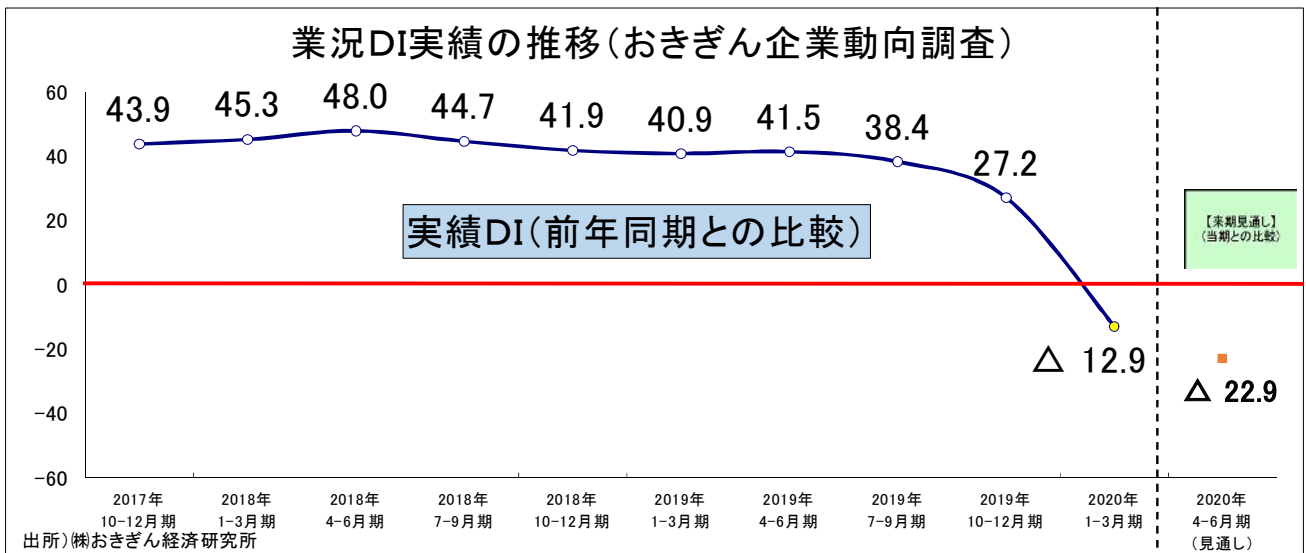
県内の事業所数所在地の構成(外円)、  
本調査の事業所数所在地の構成(内円)



➤ 調査の結果

当期の業況DIは△12.9（前年同期比）となり、全体として業況の弱さがみられます。東日本大震災の影響を受けた2011年4-6月期（△16.0）以来、35期ぶりのマイナスとなりました。また、来期の業況見通しDIは△22.9（当期比）となり、引き続き全体として業況の弱さが見込まれています。

【業況DIの推移】	2019年				2020年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期見通し
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
<b>全業種</b>	<b>40.9</b>	<b>41.5</b>	<b>38.4</b>	<b>27.2</b>	<b>△ 12.9</b>	<b>△ 22.9</b>
製造業	33.3	16.7	30.2	29.5	△ 19.5	△ 29.3
土木業	41.2	40.0	11.1	20.0	21.4	△ 14.3
建築業	50.4	54.4	37.6	36.0	21.2	9.4
卸売業	31.6	35.5	44.0	15.3	△ 15.3	△ 28.6
小売業	29.4	42.5	34.4	20.3	△ 18.7	△ 22.7
情報通信サービス業	57.1	57.1	20.0	25.0	12.5	△ 12.5
医療・福祉	31.0	35.0	40.7	36.0	60.9	47.8
その他サービス業(宿泊・飲食等)	33.8	52.9	41.6	20.3	△ 59.3	△ 65.5
その他(不動産、運輸等)	52.8	37.8	41.5	31.9	△ 5.2	△ 13.8

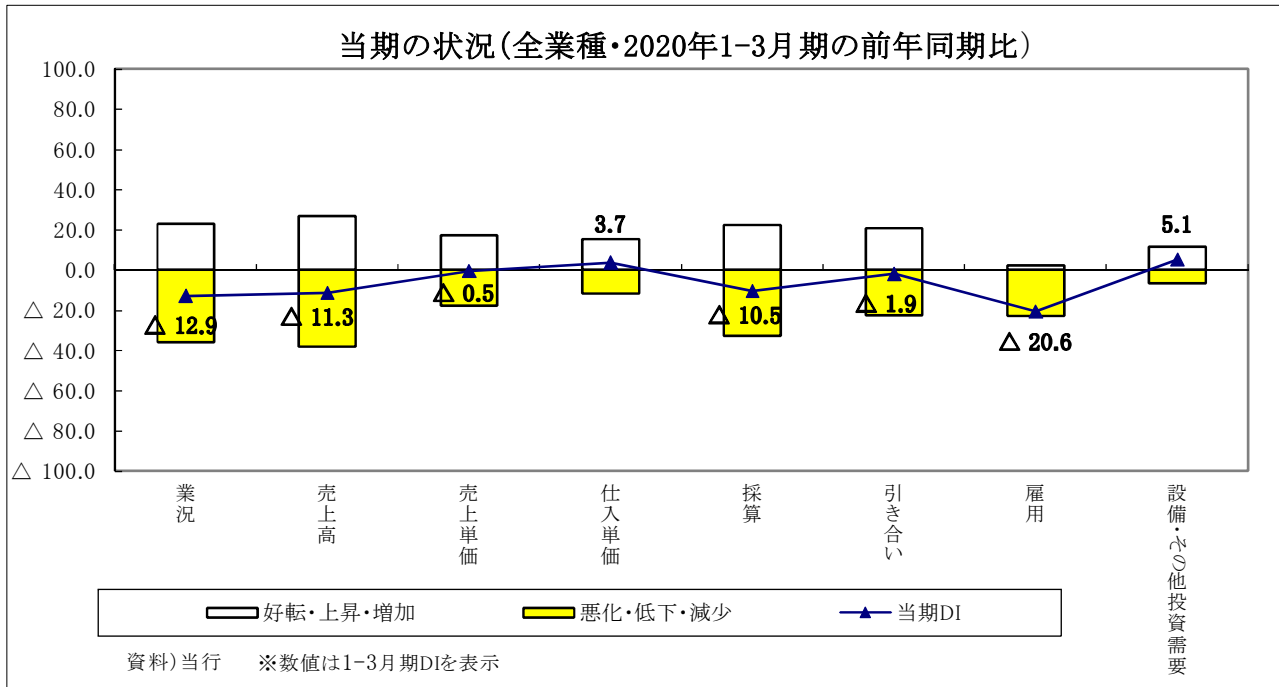


※「2020年4-6月期(見通し)」△22.9については、今期(2020年1-3月期)との比較であり、前年同期との比較ではない。このため折れ線グラフは連続していません。

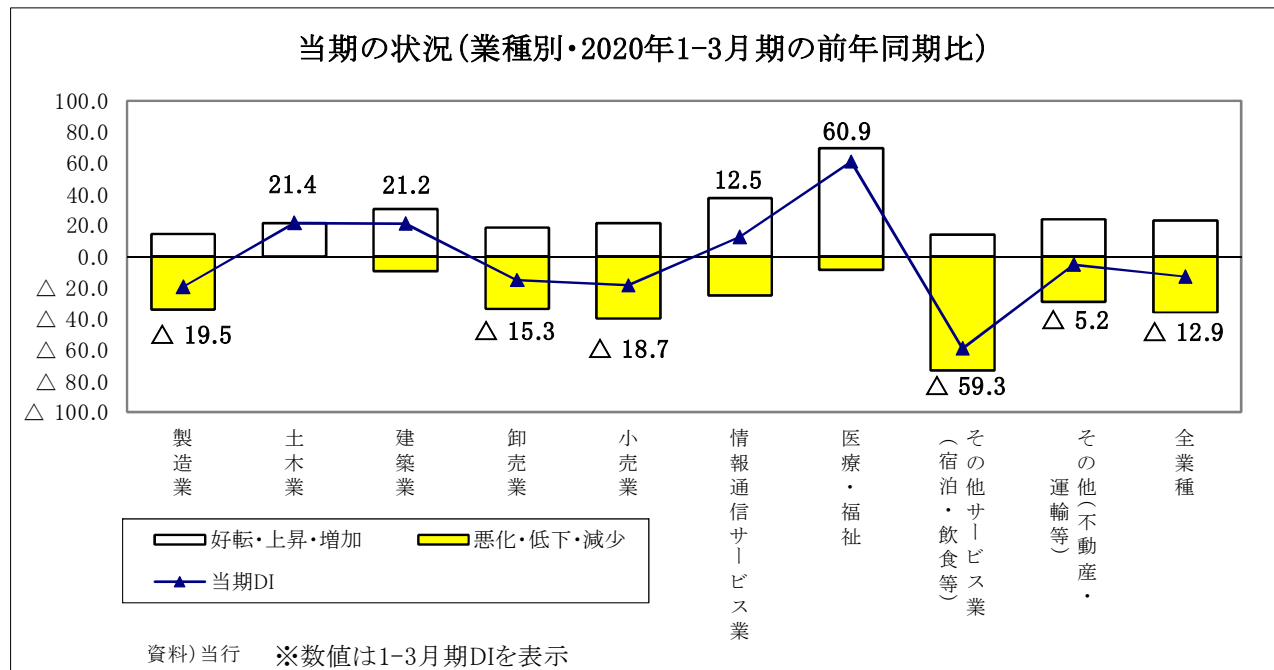
## II.調査結果(総論)

### 1.当期の状況(2020年1-3月の前年同期比)

- ▶ 当期の業況は $\Delta 12.9$ となり、**全体的に業況の弱さ**がみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、観光関連の需要が減少していることなどから、売上高( $\Delta 11.3$ )や採算( $\Delta 10.5$ )、引き合い( $\Delta 1.9$ )をはじめ、多くの項目で減少しており、業況の弱さがみられます。

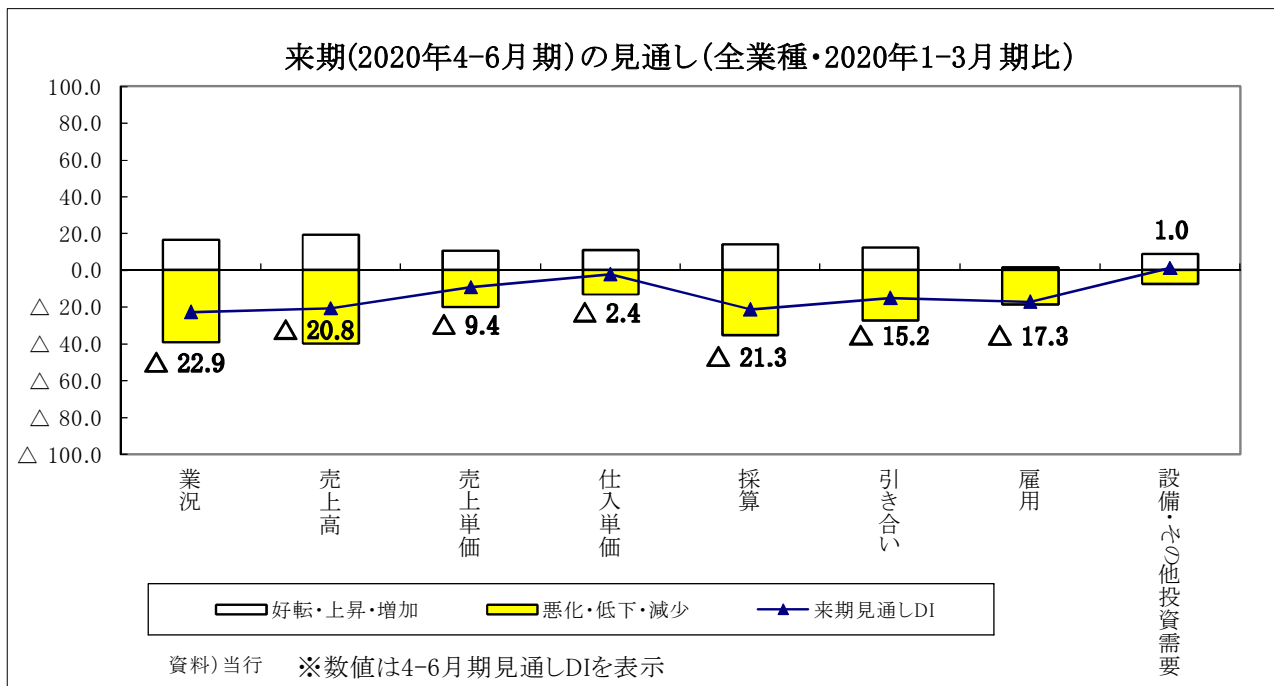


- ▶ 業種別では、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により【**其他サービス業**( $\Delta 59.3$ )】や【**製造業**( $\Delta 19.5$ )】、【**小売業**( $\Delta 18.7$ )】、【**卸売業**( $\Delta 15.3$ )】などでは**業況の弱さ**がみられ、全業種DIを下回っています。一方、【**医療・福祉**(60.9)】や【**土木業**(21.4)】、【**建築業**(21.2)】などにおいては、**業況改善の動き**となりました。

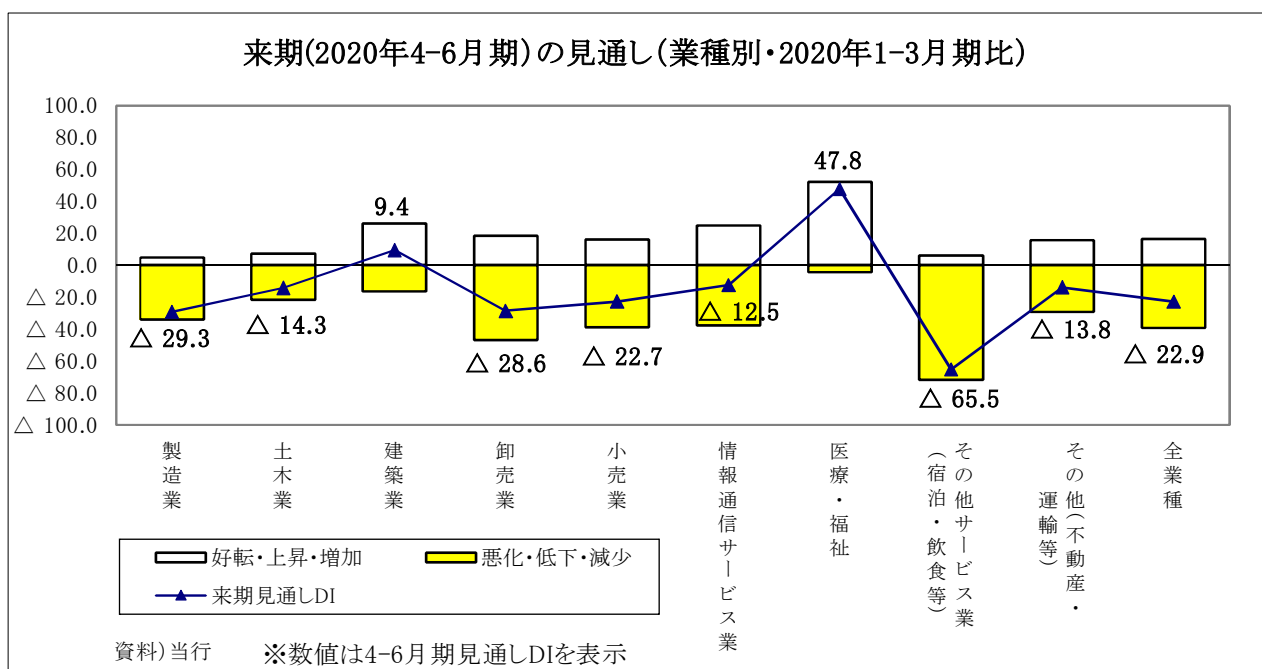


## 2. 来期の見通し(2020年4-6月期の当期比)

- ▶ 来期の見通し業況DIは $\Delta 22.9$ となり、引き続き、**業況の弱さ**が見込まれています。新型コロナウイルスの感染拡大について、観光関連のみでなく様々な業種において影響が懸念されていることなどから、売上高( $\Delta 20.8$ )をはじめ、採算( $\Delta 21.3$ )、引き合い( $\Delta 15.2$ )など多くの項目で減少が見込まれます。

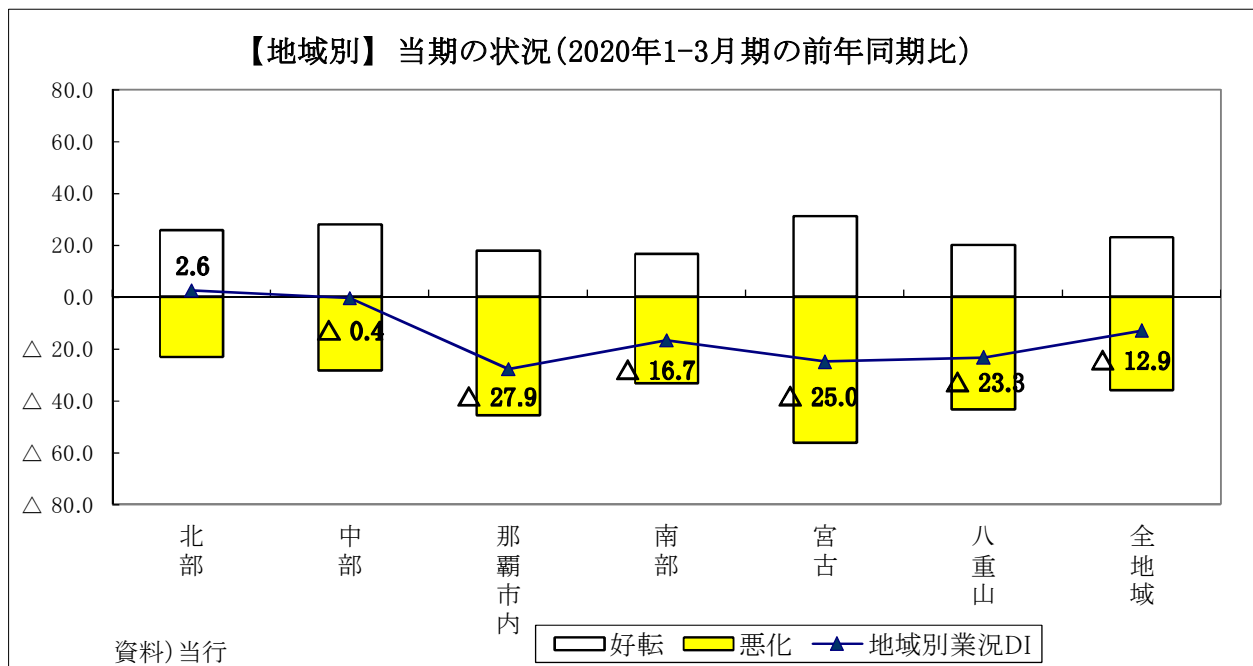


- ▶ 業種別では、全体として**業況の弱さ**が見込まれます。引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少やキャンセルが見込まれる【**その他サービス業( $\Delta 65.5$ )**】をはじめ、【**製造業( $\Delta 29.3$ )**】、【**卸売業( $\Delta 28.6$ )**】などにおいて全業種DIを下回る業況の弱さが見込まれています。

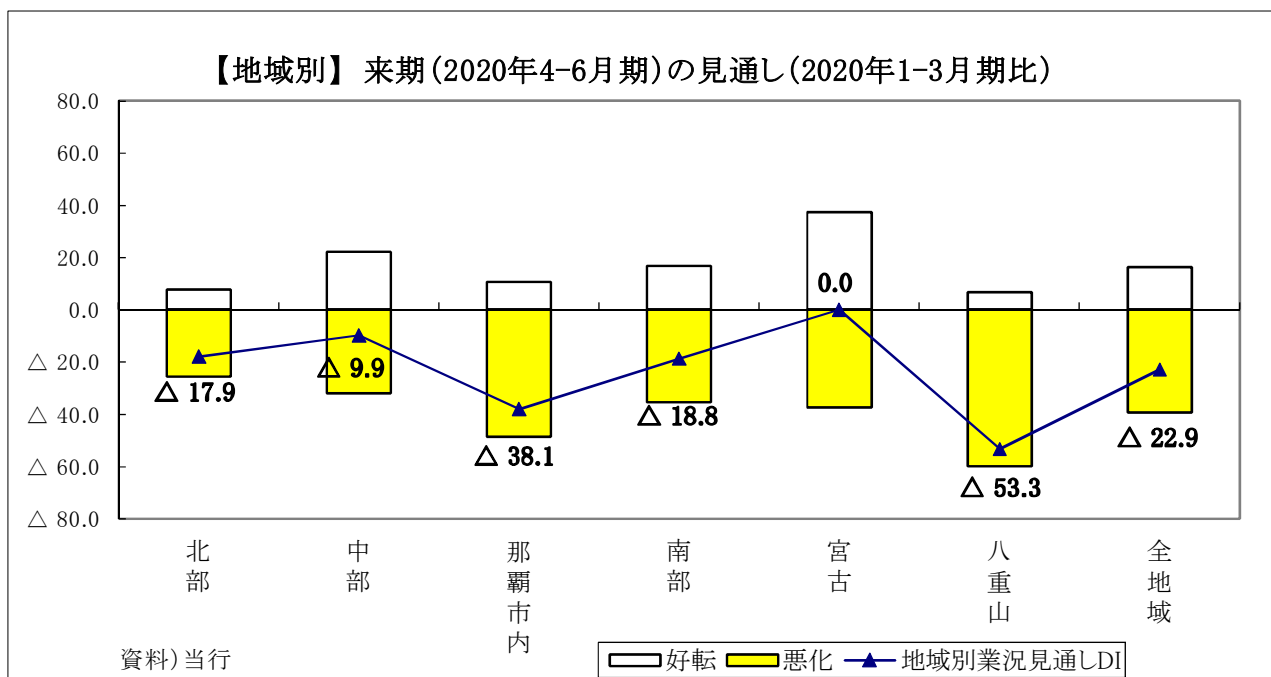


### 3.地域別の業況 DI

- ▶ 当期の地域別 DI(前年同期比)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各地域で観光関連(宿泊業・飲食業等)において需要が減少していることから、那覇市内(△27.9)や宮古地区(△25.0)、八重山地区(△23.3)をはじめ、多くの地域で業況に弱さがみられます。



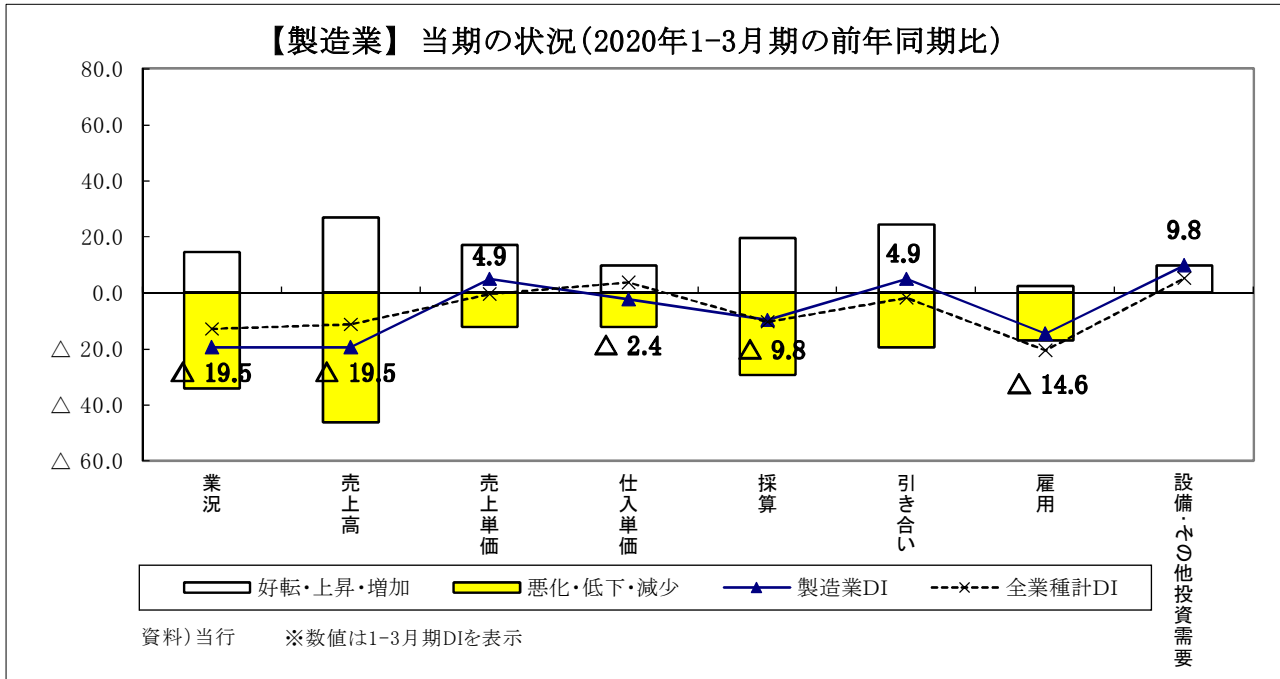
- ▶ 来期の地域別 DI 見通し(当期比)は、引き続き多くの地域で業況の弱さが見込まれています。引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響が懸念され、那覇市内(△38.1)や八重山地区(△53.3)をはじめ、多くの地域で需要減少が予想されることから、業況の弱さが見込まれています。



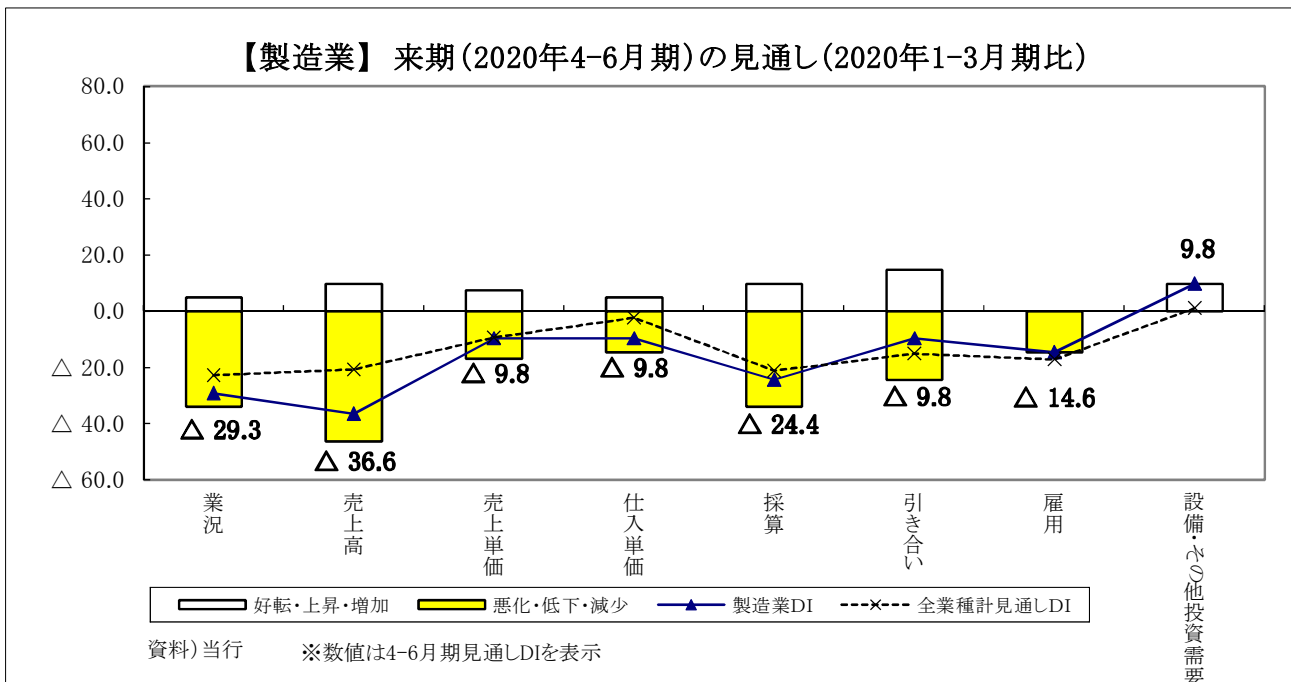
### Ⅲ.調査結果(各論)

#### 1. 製造業

- 当期 DI(前年同期比)は $\Delta 19.5$  となり、全体として業況の弱さがみられます。食品製造業などでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により観光客の需要が減少しているほか、臨時休校に伴い学校給食の需要が減少していることなどから、売上高や採算が減少しています。一方で、建設資材製造業などでは、公共工事や民間工事の需要増加などにより、売上高が増加している事業者もみられます。

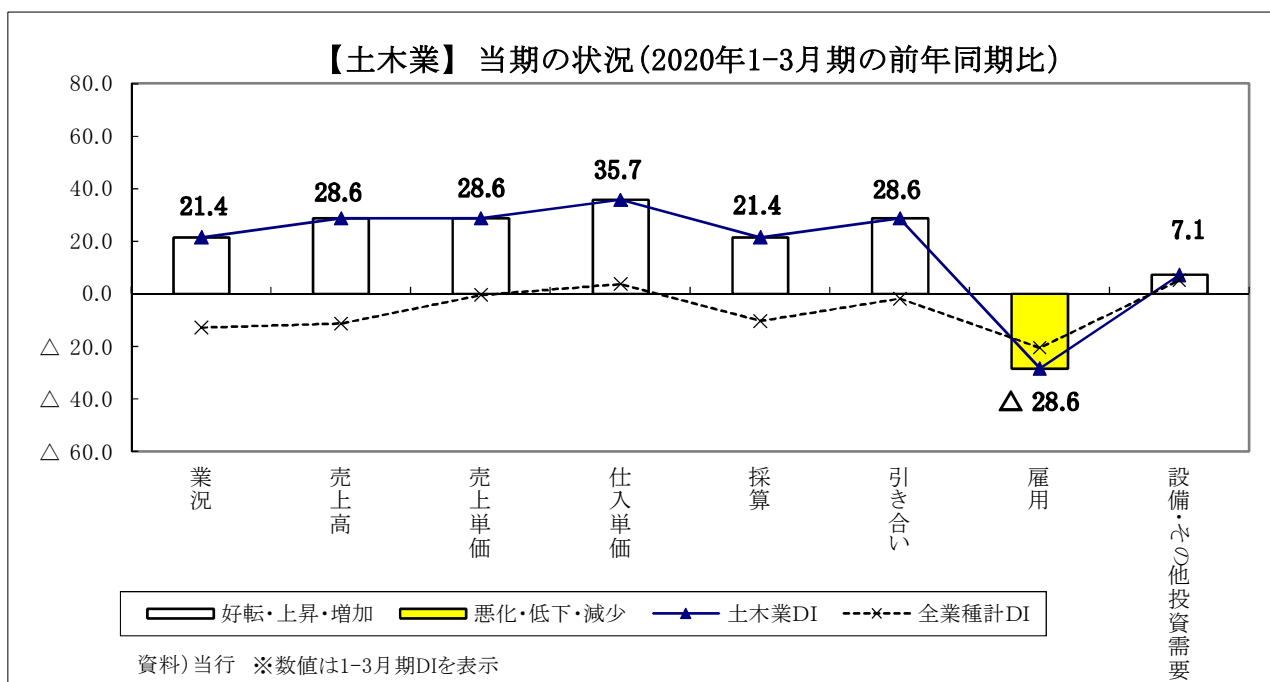


- 来期の見通し DI(当期比)は $\Delta 29.3$  となり、全体として業況の弱さが見込まれます。食品製造業などでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴うイベント中止や、観光客の減少による宿泊施設・飲食店からの需要減少等により、売上高・採算・引き合いの減少が見込まれます。

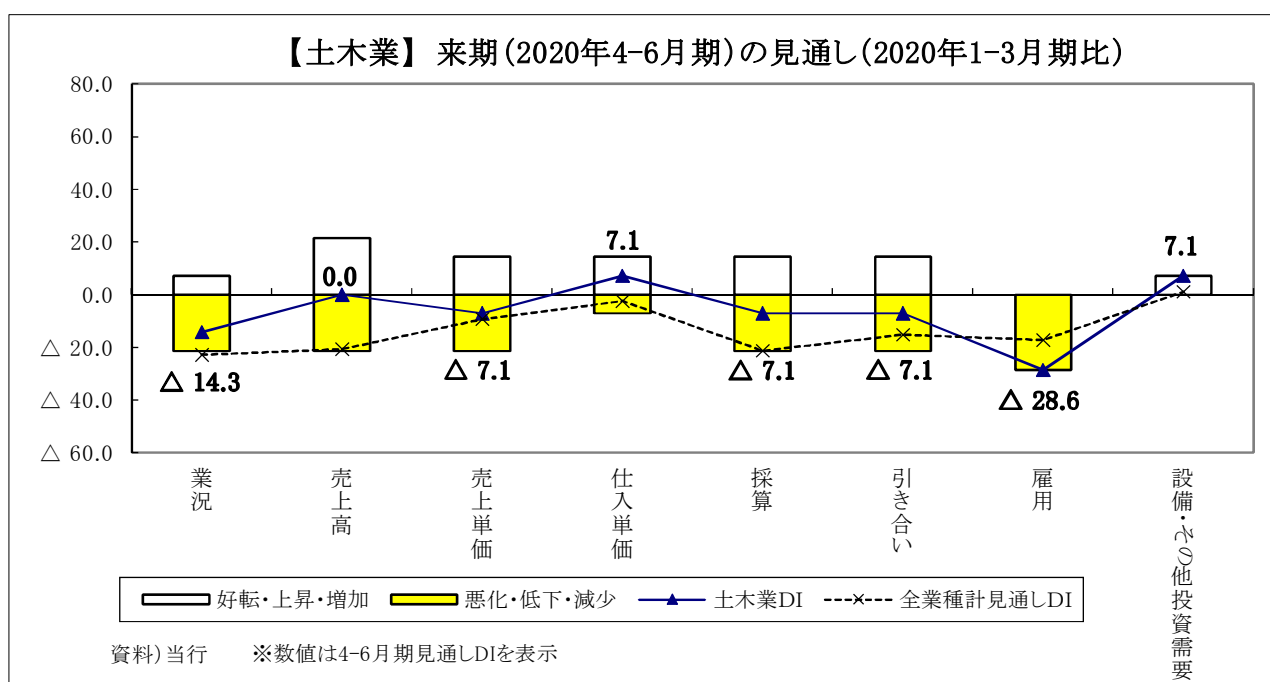


## 2. 土木業

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は21.4となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共工事の受注増加などにより売上高・売上単価・引き合いが増加しています。一方で、一部では人手不足による雇用の確保を懸念する事業者もみられます。



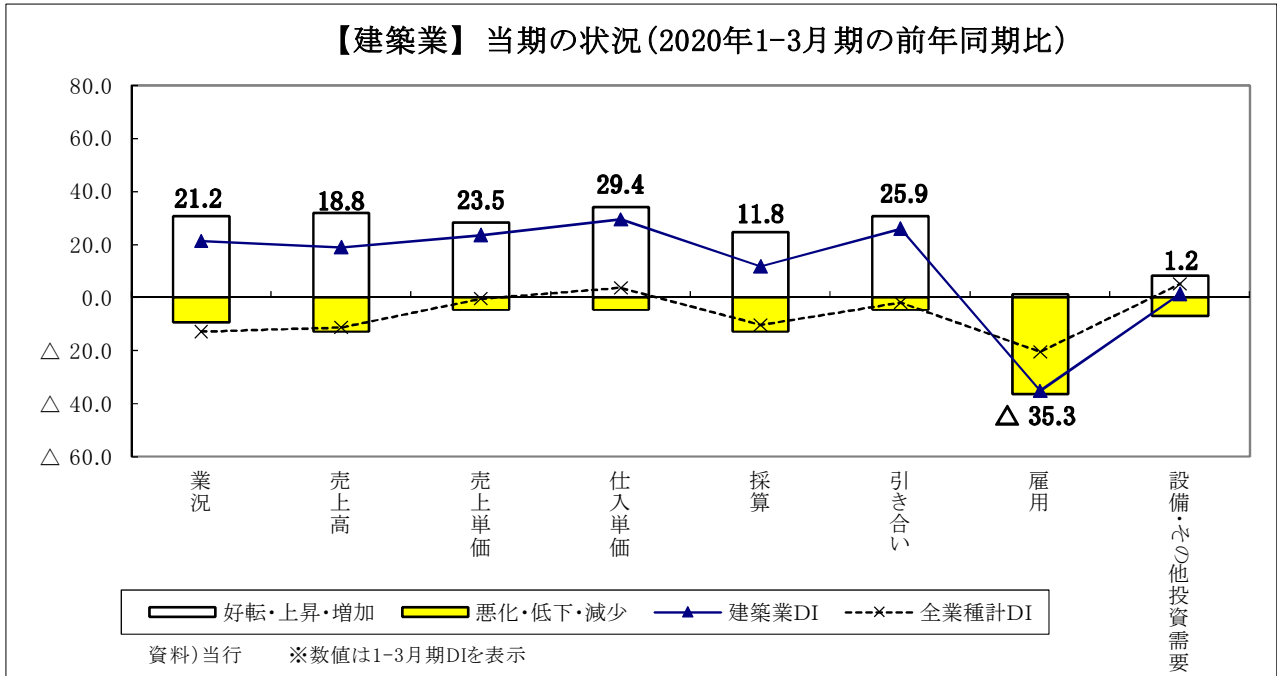
- ▶ 来期の見通しDI(当期比)は $\Delta 14.3$ となり、全体としては業況の弱さが見込まれます。引き続き公共工事の安定的な受注が期待される一方で、一部では年度初めの時期となることから工事の減少など、季節的な要因等により売上高・採算・引き合いの減少を見込む事業者も一部でみられます。



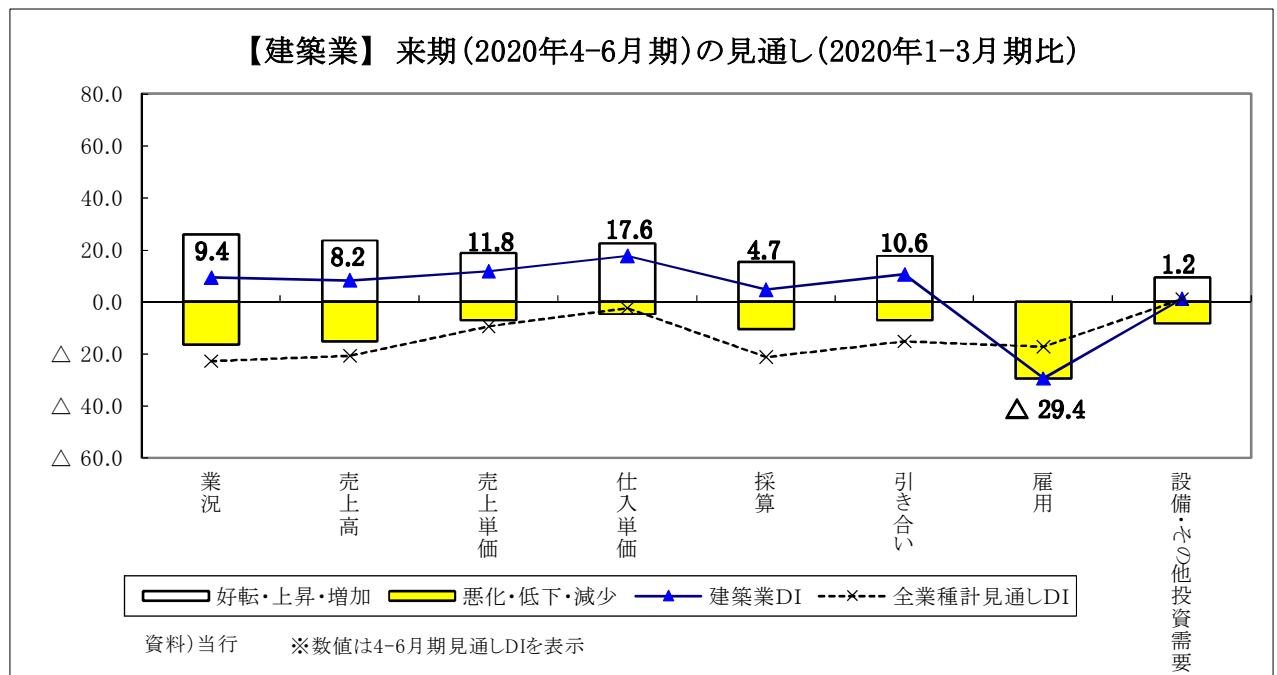


### 3. 建築業

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は21.2となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共工事や民間工事(ホテル等)の受注増加などにより、売上高・採算・引き合いが増加しています。一方、人手不足による雇用の確保を懸念する事業者が一部でみられます。

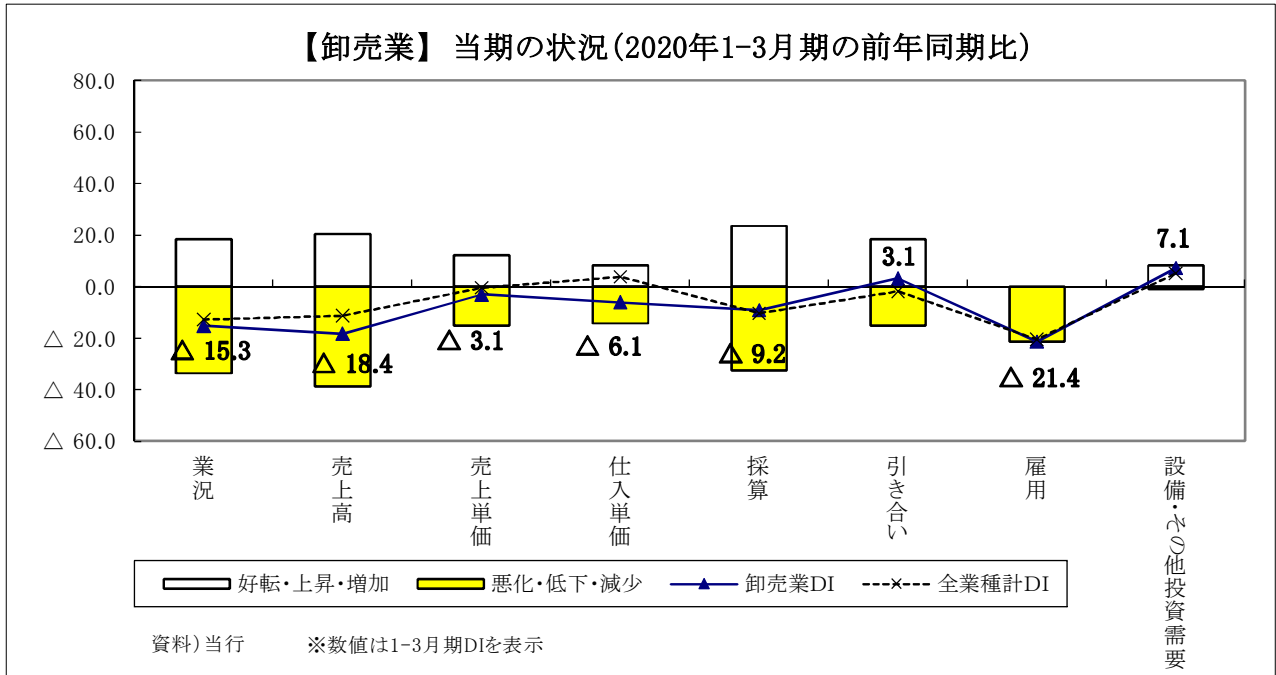


- ▶ 来期の見通しDI(当期比)は9.4となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き公共・民間工事の受注増加が見込まれており、売上高・引き合い・採算の増加が期待されます。一方で、人手不足による雇用の確保を懸念する事業者が一部で見られるほか、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中国からの資材仕入れの遅延を懸念する事業者も一部で見られます。

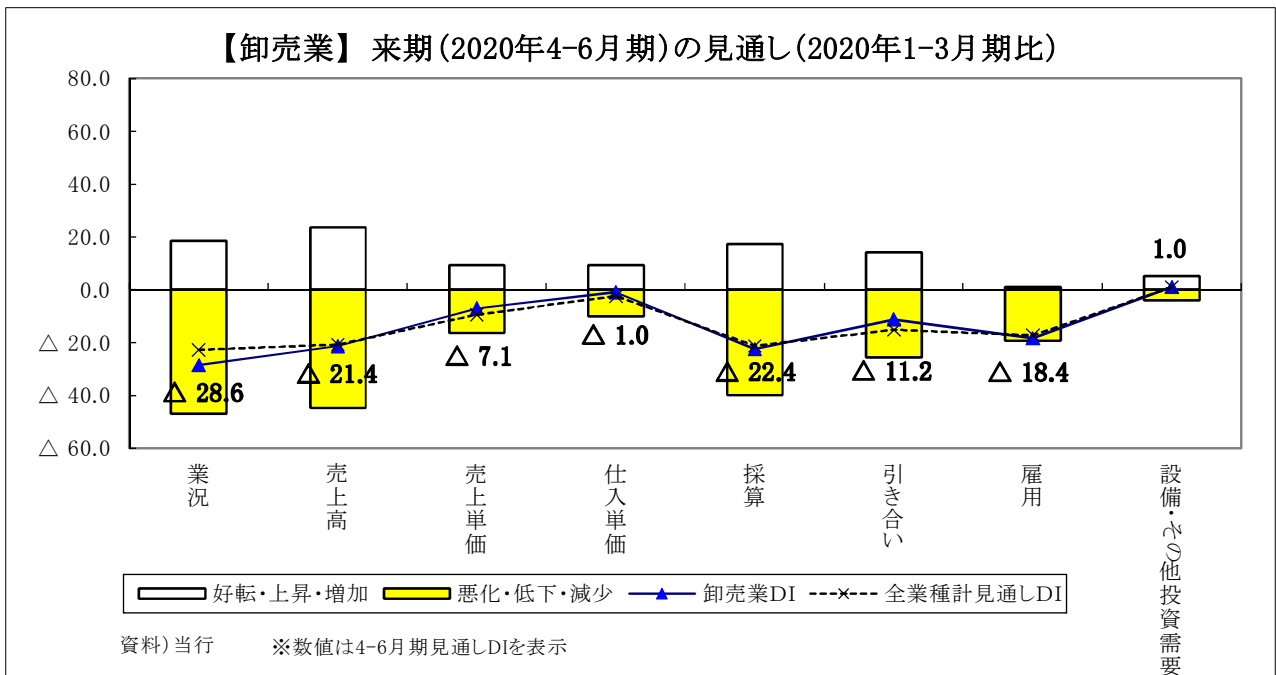


#### 4. 卸売業

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は $\Delta 15.3$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。食品卸売業や観光土産品卸売業などでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う観光客の減少や、ホテル・飲食店からの需要減少等により売上高や採算が減少している事業者がみられます。一方で、建築資材卸売業などでは、公共工事や民間工事の増加により売上高や引き合いが増加している事業者が一部のみみられます。

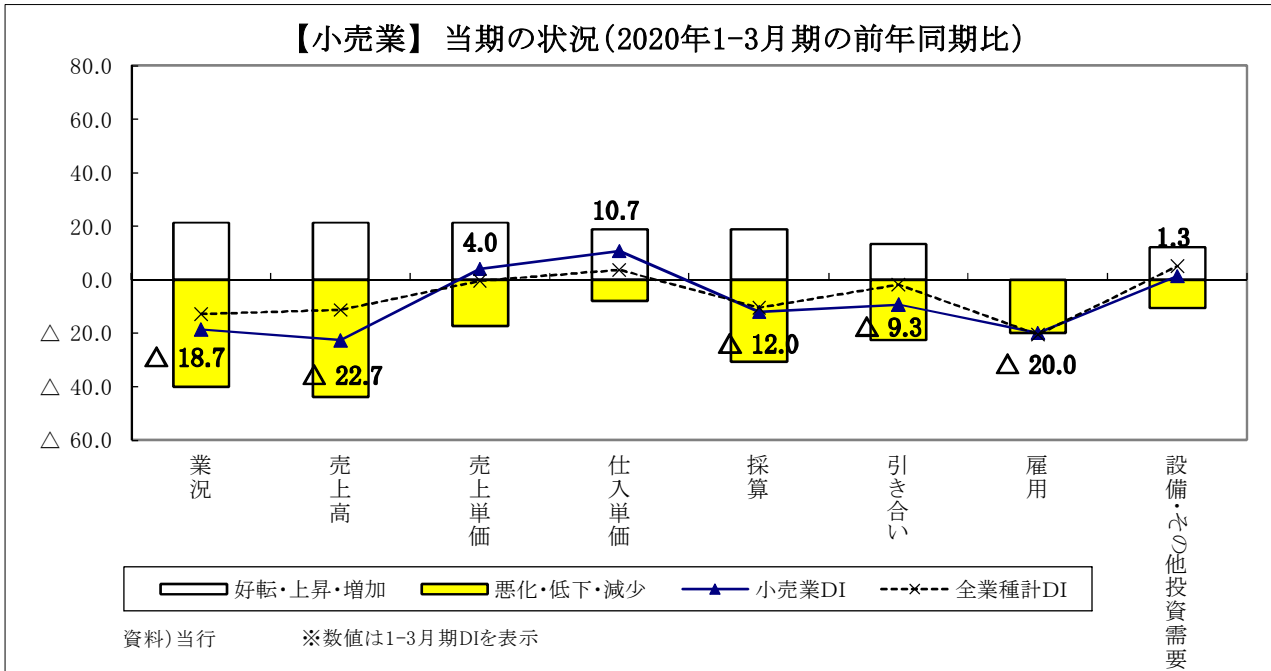


- ▶ 来期の見通し業況 DI (当期比) 見通し業況 DIは $\Delta 28.6$ となり、全体としては業況の弱さが見込まれます。新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少により食品・観光土産品・酒類・雑貨卸売業などにおいて売上高・採算・引き合いの減少が見込まれます。また、建築資材卸売業では、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う資材仕入れの遅延などを懸念する事業者も一部のみみられます。

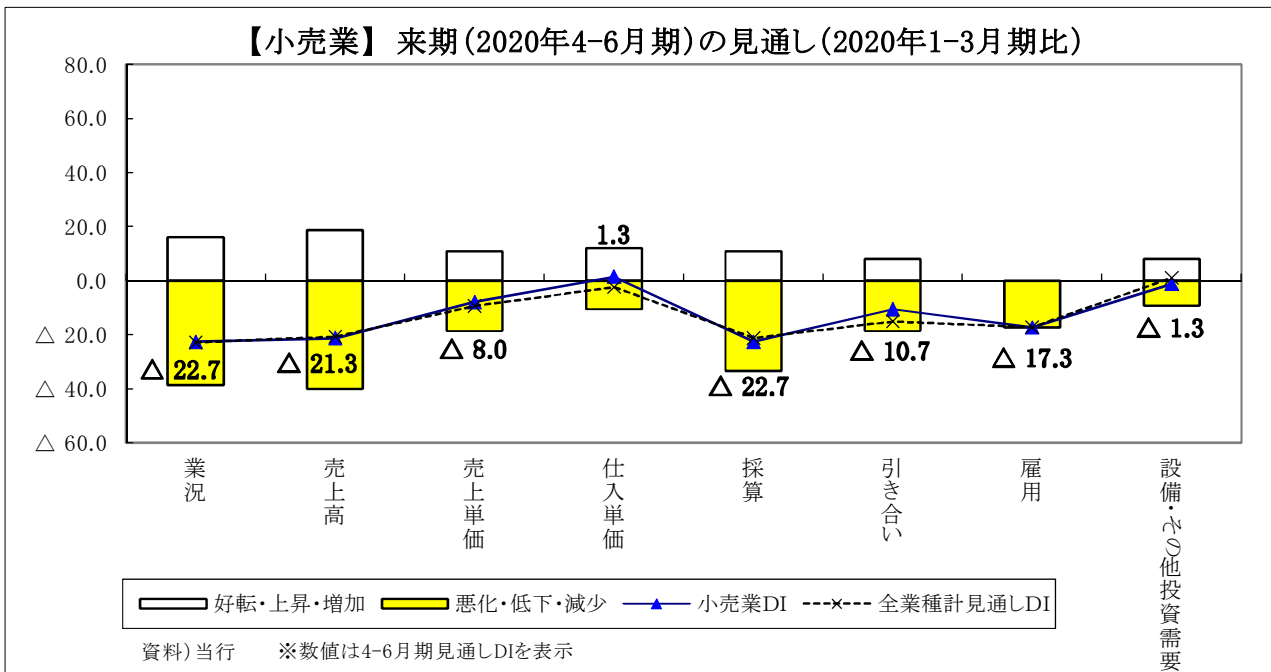


## 5. 小売業

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は $\Delta 18.7$  となり、全体としては業況の弱さがみられます。衣料品販売、コンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う観光客の需要減少等により売上高・採算・引き合いが減少しています。また、一部では消費税増税の影響により売上高が減少している事業者もみられます。

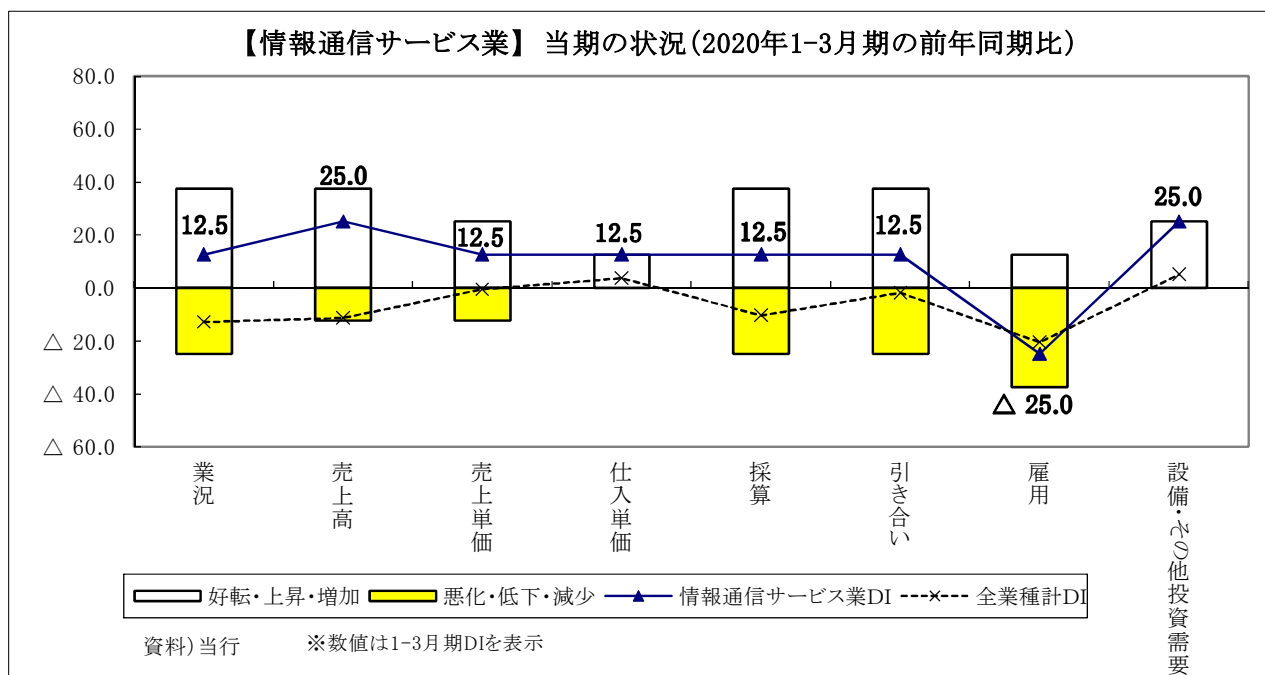


- ▶ 来期の見通し業況 DI(当期比)は $\Delta 22.7$  となり、全体としては業況の弱さが見込まれます。衣料品販売、コンビニエンスストア、観光土産品販売などでは、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う観光客の需要減少や来店客数減少等により、売上高・採算・引き合いの減少を懸念する事業者がみられます。

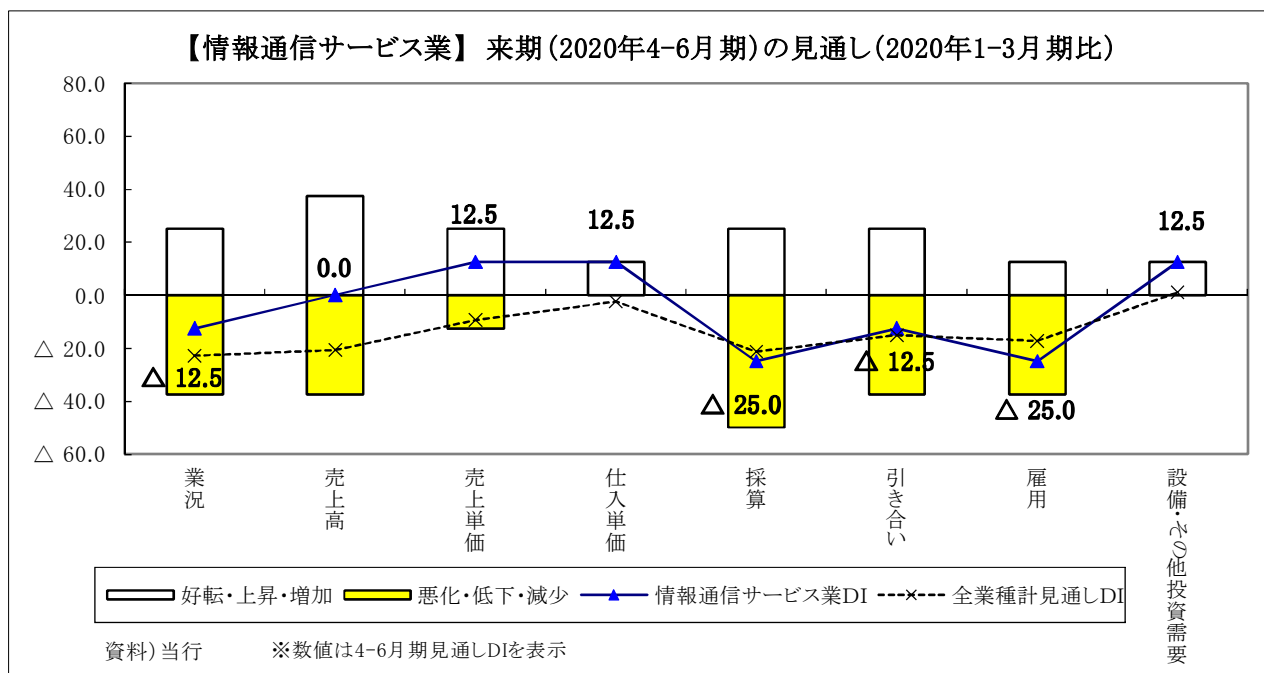


## 6. 情報通信サービス業

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は 12.5 となり、全体として業況改善の動きがみられます。システム開発業などでは、消費税増税や勤怠管理関連の需要が好調に推移しており、売上高・採算・引き合いが増加しています。一方で、人手不足により雇用確保を懸念する事業者も一部でみられます。

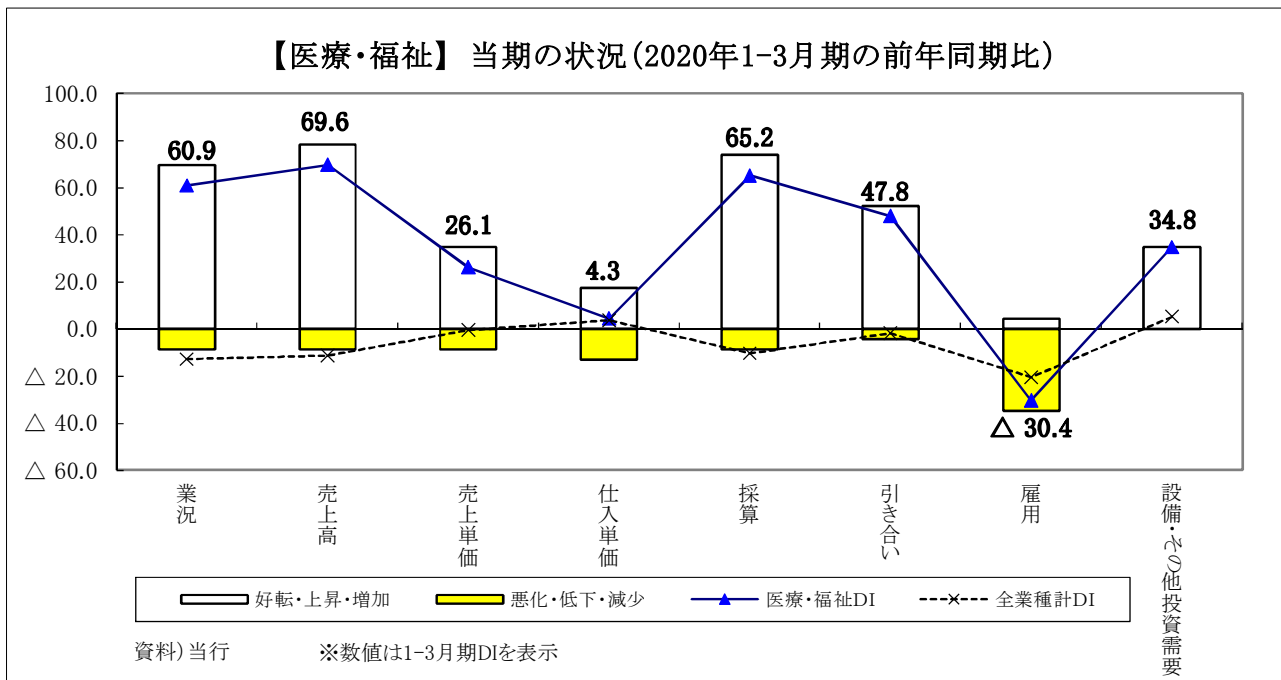


- ▶ 来期の見通し業況 DI(当期比)は△12.5 となり、全体として業況の弱さが見込まれます。映像情報制作業などでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う撮影キャンセルや需要減少などにより、売上高・採算・引き合いの減少を懸念する事業者がみられます。一方で、システム開発業などにおいては、引き続き売上高や採算の増加を見込む事業者も一部でみられます。

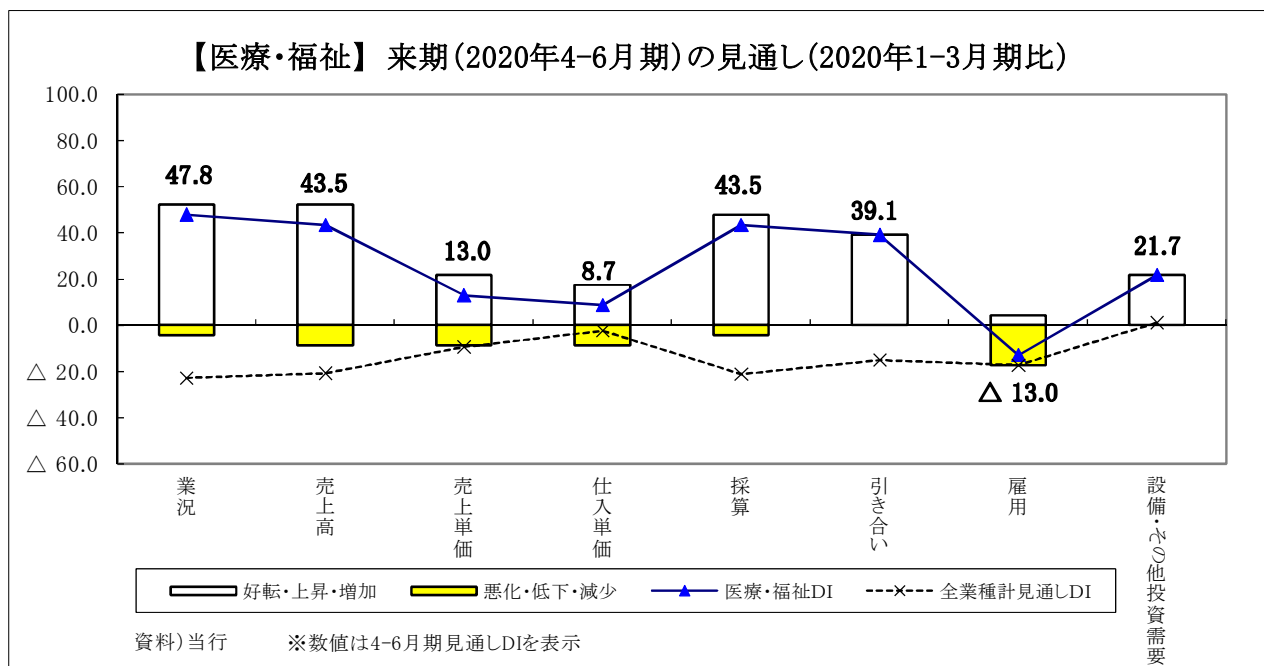


## 7. 医療・福祉

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は 60.9 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。総合病院、介護・福祉施設などでは、利用者の増加などから売上高・採算・引き合いが増加している事業者がみられます。一方で、人手不足により雇用確保を懸念する事業者も一部でみられます。

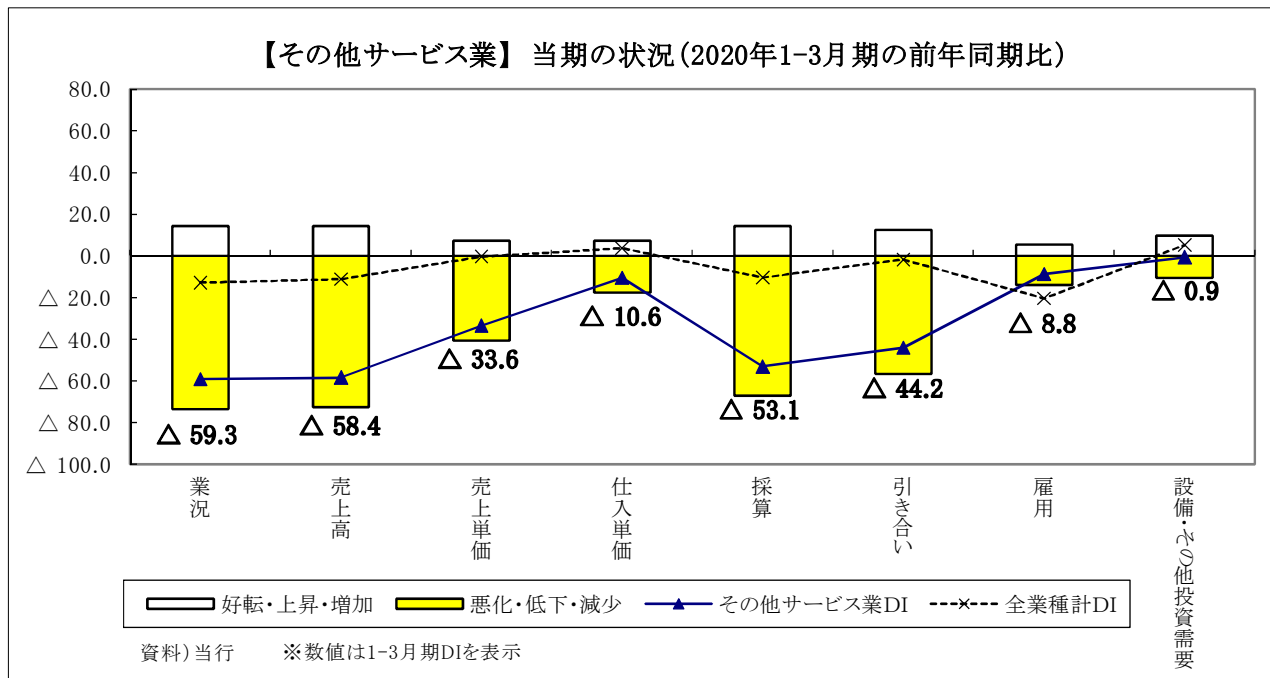


- ▶ 来期の見通し業況 DI(当期比)は 47.8 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。介護・福祉施設などでは、施設の新規開設や利用者の増加などにより、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。一方で、引き続き人手不足が見込まれることから、雇用確保を懸念する事業者も一部でみられます。

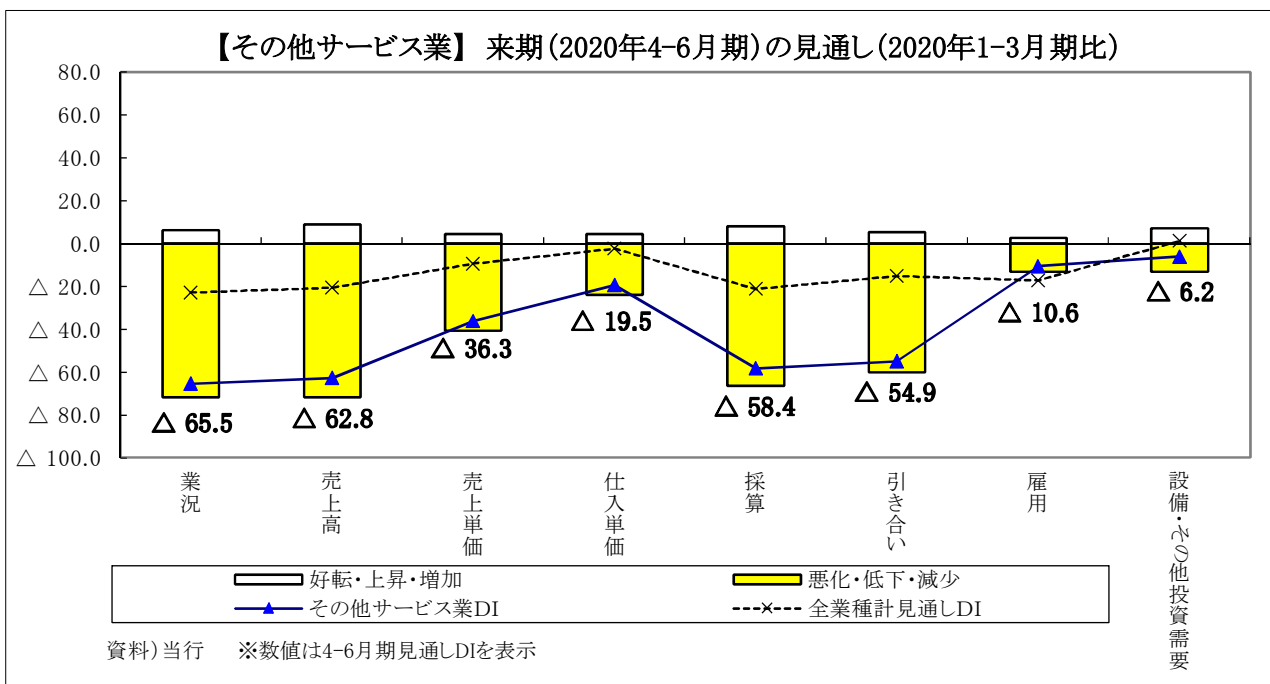


## 8. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連など)

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は $\Delta 59.3$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少やキャンセル等により、**宿泊業や観光施設、旅行業**などで売上高・採算・引き合いが減少しており、全業種DIを大きく下回っています。また、**飲食業(居酒屋、焼肉店、レストラン)**などにおいても、来店客数減少や予約キャンセルの影響等により業況の弱さがみられます。

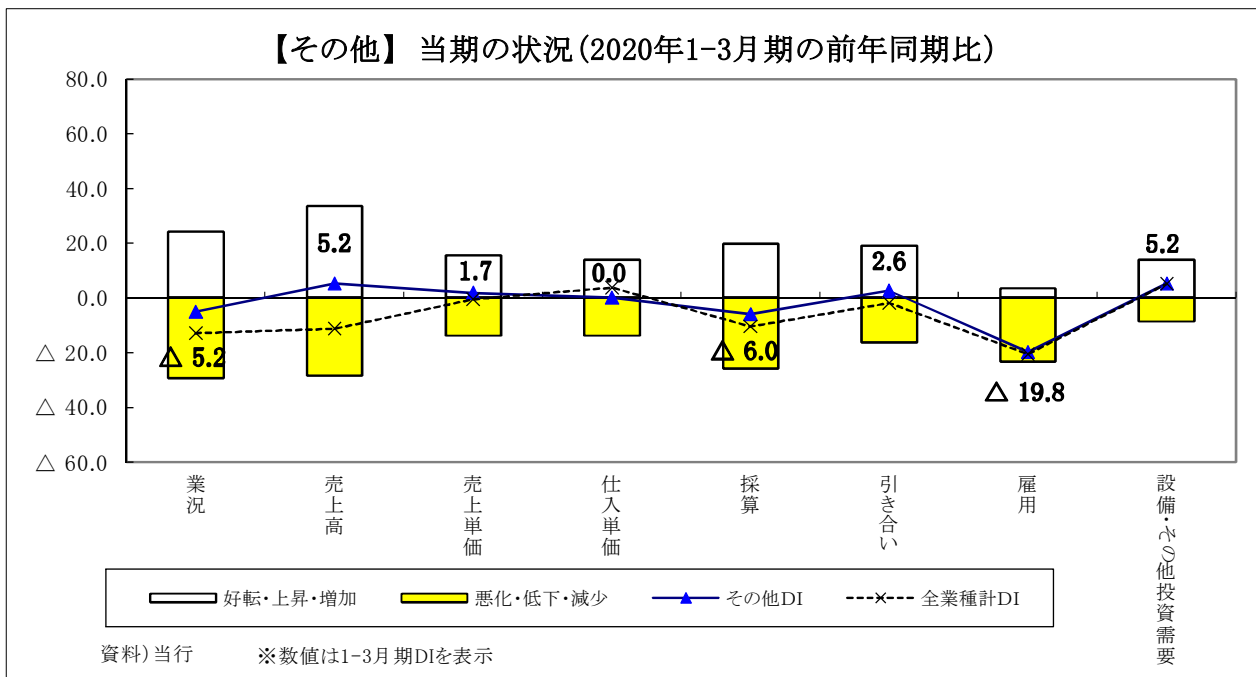


- ▶ 来期の見通し業況DI(当期比)は $\Delta 65.5$ となり、全体としては業況の弱さが見込まれます。**宿泊業、観光施設、旅行業、飲食業**などでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少や予約キャンセルなどが引き続き予想され、売上高・採算・引き合いの減少が見込まれます。新型コロナウイルス感染拡大の影響について終息時期の目処が立っていないことから、先行きの不透明感を背景に、多くの事業者において業況の弱さが見込まれています。

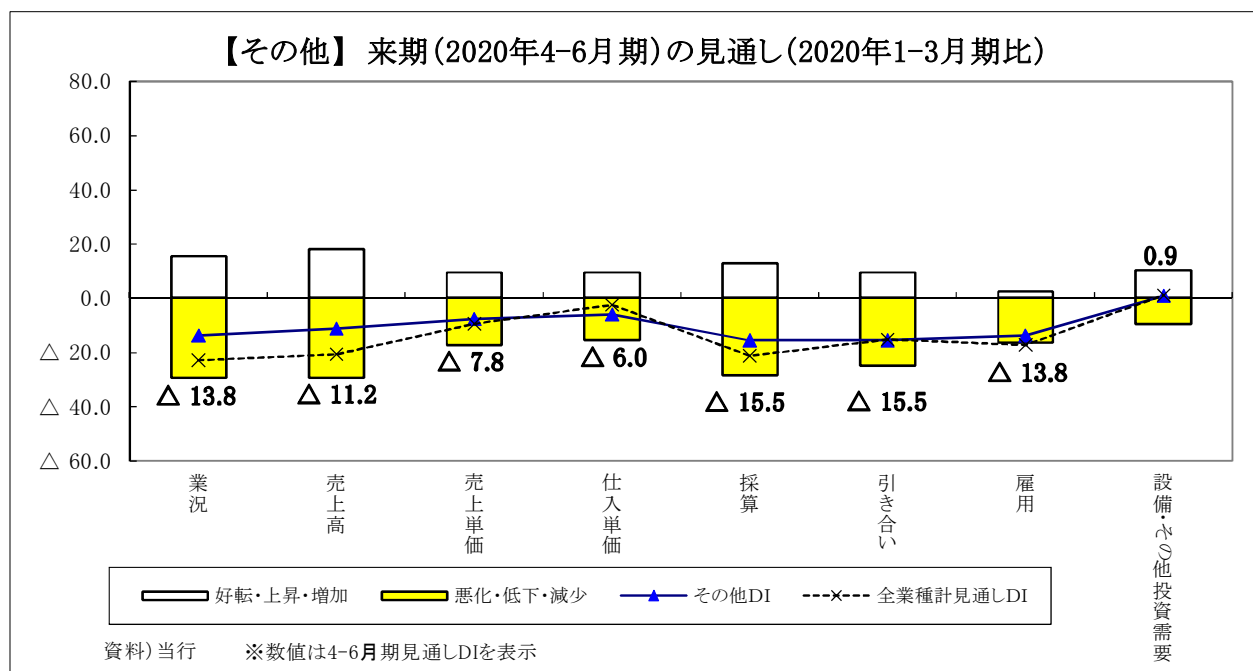


## 9.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は $\Delta 5.2$ となり、全体としては業況の弱さがみられます。運輸業(タクシー、フェリー)、レンタカー業などでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少等により売上高・採算・引き合いが減少している事業者がみられます。一方で、公共工事、民間工事の需要が増加している測量・設計業や、不動産取引が増加している不動産業(販売・仲介)などにおいては、売上高や引き合いが増加している事業者も一部でみられます。



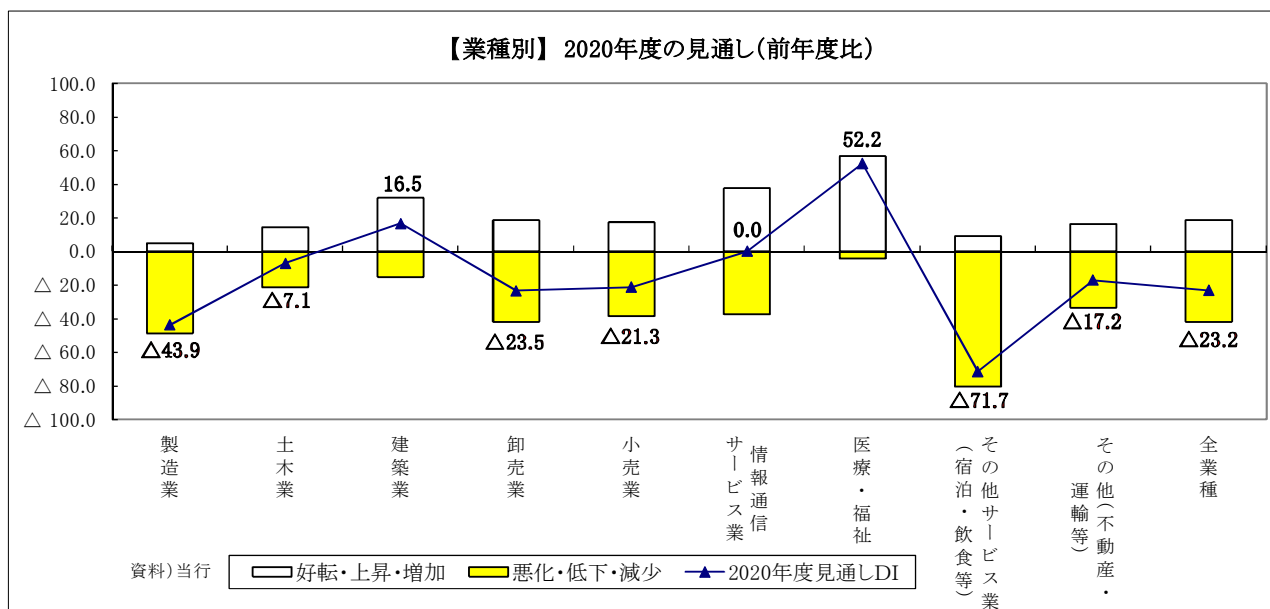
- ▶ 来期の見通し業況DI(当期比)は $\Delta 13.8$ となり、全体としては業況の弱さが見込まれます。運輸業(タクシー、観光バス)、レンタカー業、自動車整備業などでは、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少等により、売上高・採算・引き合いの減少が見込まれています。



## IV.調査結果 2020年度の見通しDI(2019年度比)

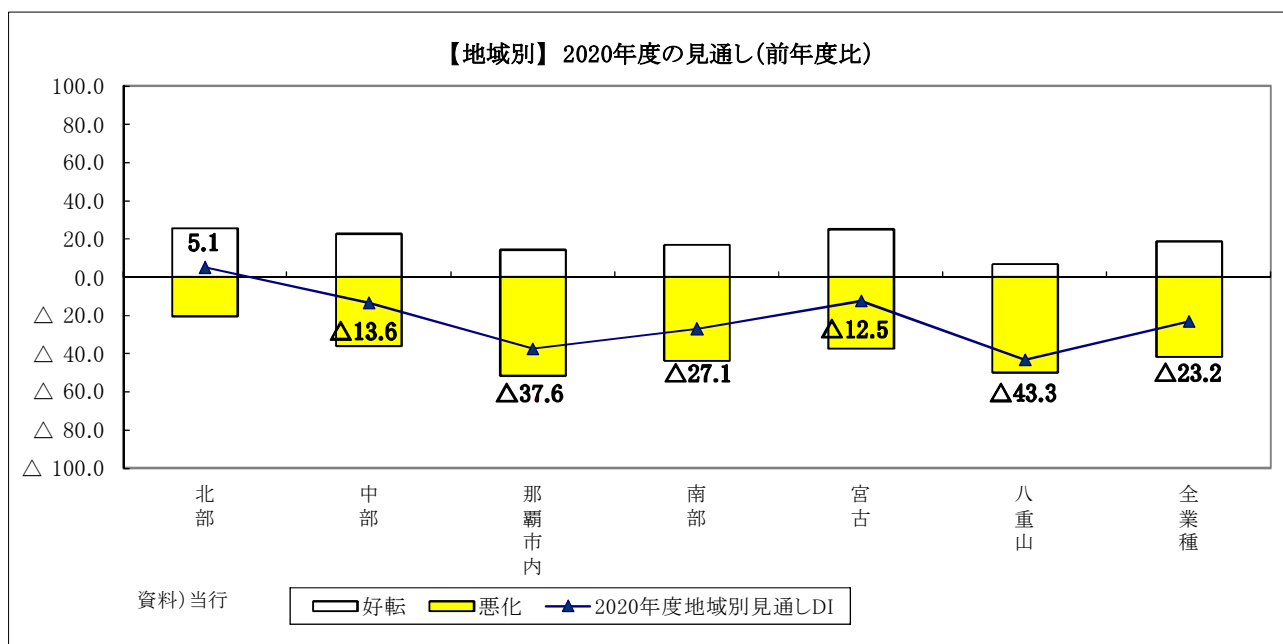
### 1.業種別見通し

2020年度業種別見通しは、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少や先行きの不透明感により、**その他サービス業(宿泊・飲食等)**や**製造業**などをはじめ、多くの業種において2019年度と比較して**業況の弱さ**が見込まれています。その一方で、公共・民間工事の受注増加などを見込む**建築業**や、施設の新規開設や利用者の増加を見込む**医療・福祉**などにおいては、**業況改善の動き**が見込まれます。



### 2.地域別見通し

2020年度地域別見通しは、北部地区を除く本島及び離島地域で**業況の弱さ**が見込まれます。**本島(中部、那覇市内、南部)**及び**離島(宮古地区、八重山地区)**ともに、新型コロナウイルス感染拡大の影響による需要減少が見込まれることなどから、北部地区を除く各地域で**業況の弱さ**が見込まれています。





## V.まとめ(総括)

### ➤ 【当期の業況DI】

当期(2020年1-3月期)の業況DIは $\Delta 12.9$ (前年同期比)となり、業況の弱さがみられます。観光関連(宿泊、飲食業、観光施設、旅行業等)では、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少やキャンセル等により売上高・採算・引き合いが減少しており、中には団体客や修学旅行のキャンセルの影響を受けている事業者もみられます。小売業(衣料品販売、コンビニエンスストア、ガソリンスタンドなど)では、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う観光客の需要減少等により売上高・採算・引き合いが減少しています。また、一部では消費税増税の影響により売上高が減少している事業者もみられ、全体として業況の弱さがみられます。一方で、建設関連(土木、建築、測量、設計など)では、公共工事や民間工事(ホテル等)の受注増加などから、売上高・引き合いが増加しています。一部で人手不足による雇用の確保を懸念する事業者もみられますが、全体としては業況改善の動きがみられます。

### ➤ 【来期の見通し業況DI】

来期(2020年4-6月期)の見通し業況DIは $\Delta 22.9$ (当期比)となり、引き続き、業況の弱さが見込まれています。観光関連では、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少や予約キャンセルなどにより、売上高・採算・引き合いの減少が見込まれます。新型コロナウイルス感染拡大の影響について終息時期の目処が立っていないことなどから、先行きの不透明感を背景に、全体としては業況の弱さが見込まれています。小売業においても、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う観光客の需要減少や来店客数減少等により売上高・採算・引き合いの減少を懸念する事業者がみられ、全体としては業況の弱さが見込まれます。建設関連では、建築業において引き続き公共・民間工事の受注増加が見込まれることなどから、売上高・採算・引き合いの増加が期待されますが、一部では新型コロナウイルス感染拡大の影響により、資材仕入れの遅延を懸念する事業者もみられます。

### ➤ 【来年度の見通し業況DI】

来年度(2020年度)の見通し業況DIは $\Delta 23.2$ (2019年度比)となり、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う需要減少や先行きの不透明感により、多くの業種において業況の弱さが見込まれています。

観光関連では、宿泊業や飲食業において需要減少が見込まれるほか、製造業では食品製造業などにおいて観光客減少やホテルからの仕入れ減少、イベント中止などにより、売上高・採算・引き合いの減少が見込まれます。小売業では、衣料品販売、コンビニエンスストア、観光土産品販売などにおいて観光客の需要減少や来店客数減少などにより、全体として業況の弱さが見込まれます。一方で、建設関連では、建築業において引き続き公共工事、民間工事の受注増加が見込まれることなどから、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。